

II

いきいき長生き応援シート（ケアマネジャー用）

1 対象者理解について

対象者氏名

被保険者番号 1000

記入日 年 月 日

《出典》渡部律子作成,,ソーシャルワーク研究所,フクロウの止まり木参加者振り返りシート

	項 目	①理解度	②理解した内容：わかったこと (100 文字以内)	③さらに知りたいこと (対象者に質問したいこと) (100 文字以内)
統合的 アセスメント 関連 (利用者理解)	1. クライアントが現状をどのように考え、感じ、行動しているかがわかっている。	10 点 満点中 点		
	2. クライアント像がおおよそ見えている（どのような人か／どのような歴史をたどった人か／大切にしている価値観・人生は何か）。	10 点 満点中 点		
	3. クライアントの持つ力（問題対処力、資源、強さ）と難しいこと（限界）が見えている。	10 点 満点中 点	力： 難しいこと：	
	4. クライアントにとって家族内で重要な意味を持つ人との関係性、その人が持つ力や難しさが明確になっている。	10 点 満点中 点		
	5. クライアントシステム（クライアント、家族等）が何を望んでいるかが明らかになっている（クライアント・家族等が抱えているニーズ）。	10 点 満点中 点	望んでいること：	
役割 関連	6. クライアントシステムがワーカーに期待している役割が明らかになっている（何をする人と思っていたのか）。	10 点 満点中 点	期待している役割：	
	7. ワーカーの支援のゴールが明らかになっている（誰に対して何をしようとしていたのか）。	10 点 満点中 点	支援のゴール：	

2 ケアマネジメントの状況について

NO	カテゴリー	ニーズ把握	家族への相談	地域住民・民生委員等への相談	ニーズカテゴリーに係る専門職への相談	ケアプランへ具体策を記載	具体策の内容
1	社会生活 社会参加	☐ ニーズあり	☐ 相談あり	☐ 相談あり	☐ 相談あり	☐ インフォーマル ☐ フォーマル	
2	運 動	☐ ニーズあり	☐ 相談あり	☐ 相談あり	☐ 相談あり	☐ インフォーマル ☐ フォーマル	
3	栄 養	☐ ニーズあり	☐ 相談あり	☐ 相談あり	☐ 相談あり	☐ インフォーマル ☐ フォーマル	
4	口 腔	☐ ニーズあり	☐ 相談あり	☐ 相談あり	☐ 相談あり	☐ インフォーマル ☐ フォーマル	
5	疾 病	☐ ニーズあり	☐ 相談あり	☐ 相談あり	☐ 相談あり	☐ インフォーマル ☐ フォーマル	
6	物 忘 れ (MCI、認知症等)	☐ ニーズあり	☐ 相談あり	☐ 相談あり	☐ 相談あり	☐ インフォーマル ☐ フォーマル	
7	心の健康 (抑うつ等)	☐ ニーズあり	☐ 相談あり	☐ 相談あり	☐ 相談あり	☐ インフォーマル ☐ フォーマル	

3 担当ケアマネジャーからの総括コメント（担当者としての気づき） ※各 100 文字以内

対象者理解について (アセスメント関連)	
ケアマネジメントの内容 について（役割関連、ケア プラン内容、自分の特性に ついて等）	

4 管理者からの総括コメント(担当者へのエール) ※各 100 文字以内

対象者理解について (アセスメント関連)	
ケアマネジメントの内容 について（役割関連、ケア プラン内容、ケアマネジャ ーの特性について等）	

◎朝来市 LoGo フォーム「いきいき長生き応援シート（ケアマネジャー用）」

フォームの URL (インターネット)

<https://logoform.jp/form/qL8q/576138>

入力用 QR コード



令和 6 年 5 月 2 日

朝来市包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

「いきいき長生き応援シート」（ケアマネジャー用）の記載法

このシートは、①対象者理解について ②ケアマネジメントの状況について ③総括コメント（担当者・管理者）の 3 部から構成されています。

1 対象者理解について（フクロウの止まり木シート）

- ・ 「理解度」は 10 点満点で考えた際、自分は「何点程度」わかったかと考えるかを点数で記載してください。
- ・ 「理解した内容」は、どんなことがわかったかを短くまとめてください。
- ・ 「さらに知りたいこと」は、上記の項目に関する理解をより深めるために、対象者へさらに尋ねたいことを書いてください。なければ「なし」と書いてください。
- ・ 記述は 100 文字以内に収めてください。
- ・ この項目は、《出典》渡部律子作成, ソーシャルワーク研究所, フクロウの止まり木参加者振り返りシートから引用しています。以下、渡部律子先生のメッセージを掲載します。

このシートは、担当ケアマネジャーによる「評価表」です。
相談援助面接のやり取りで何がどこまでわかったかを整理し続けることは、今後の専門性を高めていく良い機会になります。時間がかかって大変と思われるかもしれませんが、大事に考えず、ご自身が取り組まれた支援の過程を振り返ってください。支援を「やりっぱなし」にするのではなく、「端的に自分の理解度や不明点をまとめる練習」を繰り返すことは、クライアントに焦点をあてて意味のある相談援助面接を実施するための良いトレーニングになります。

（渡部律子作成, フクロウの止まり木, 事例シートから抜粋）

2 ケアマネジメントの状況について

- ・ 1～7 のカテゴリーは、いきいき長生き応援シート（対象者用）と連動しています。
- ・ 介護予防リスクが抽出されたカテゴリーについて、「ニーズあり」に ☒ を入れてください。
- ・ 家族へそのカテゴリーニーズについて相談した場合は、「家族への相談」、地域住民、民生委員、区長、集いの場のお世話役等に相談した場合は、「地域住民・民生委員等への相談」に ☒ を入れてください。
- ・ また、それぞれのカテゴリーの専門職（例：栄養に関する介護予防ニーズであれば、管理栄養士等）への相談をした場合、「専門職への相談」に ☒ を入れてください。
- ・ 「ケアプランへ具体策を記載」している場合は、その内容によって、☐ インフォーマル、☐ フォーマルにチェックを入れてください。両方記載している場合には、両方にチェックを入れてください。
- ・ 「具体策の内容」は、ケアプランに記載されたインフォーマル、フォーマルの具体策をご記入ください。（例：週に 3 回 15 分程度のウォーキングをする、娘と一緒に買い物に行き食材をバランスよく選ぶ、デイサービス等）

3 総括コメントについて

- ・ 担当者、管理者、それぞれ総括コメントを記入ください。（100 文字以内）
- ・ 管理者のコメントは、担当者のモチベーションがあがるような内容をお願いします。